

稽

(五)	も	象	す	べ	血	日	(四)	(三)	(二)	(一)
a	が	を	べ	く	統	本		帰属先を規定する名が備わっているわけではない、ということ。	見出しを容赦なく切り捨てること、国民の統合をのぞく動きが強まっていること。	国内では緊張関係にあっても、国外では日本人同士なら許容されると思った点に、日本語を通じた身内意識に依存する感覚が働いていたこと。
緩	排	生	く	仮	人					
b	除	む	国	構	基					
滑	さ	制	内	さ	づ					
稽	れ	度	に	れ	い					
c	る	で	絶	た	て	個				
深	危	あ	え	制	同	と				
長	険	る	ず	度	一	じ				
	を	た	非	で	の	て				
	免	め	国	あ	国	誕				
	れ	民	り	国	民	生				
	な	日	と	国	あ	る				
	い	本	し	民	統	と				
	と	人	て	統	合	思				
	い	で	排	合	を	わ				
	う	あ	除	を	維	せ				
	こ	れ	す	を	持	る				
	と	ば	る	維	持	る				
	と	誰	対	持	る					

第二問

(五)	(四)	(三)	(二)	(一)		
中納言は若君の父であり、後の態度には親しきもうかえるから。	中国に戻って後に会うことはもう二度とないと思うと名残惜しいから。	母や妻との別れについて、自ら招いた比類ない悲しみだと思った。	あなたが私と逢ったというのは幻で、逢ってない。	キ	ウ	ア
				やはりとても切実で心の晴らしようがない時節である	分別をもちつつしみ控える	ア アキはいつもやはりそれはなく、どうしようもなく悲しい時に

第三問

(四)	(三)	(二)	(一)			
			d	c	a	
<p>殷と夏は民衆を脅すばかりで、思ふことも利益を与えることもなかつたから。</p>	<p>では政治はうまくゆかないということ。</p>	<p>で役に立たない御者のようなものだ。</p>	<p>愚かな君主は正しいやり方を理解せず馬を脅して従わせようとするばかり</p>	<p>脅し従わせることは必要であるが</p>	<p>民衆はますます働かせられなくなる</p>	<p>馬を脅し従わせる方法</p>

第四問

(四)	(三)	(二)	(一)
<p>を眺めるうちに、意識を超えた宇宙的なものの現れを感じた気がしたということ。</p> <p>影絵を演じ、星灯を頼りに宇宙と会話する老人の問近で、なにも映らぬスクリーン</p>	<p>表現の論理に組み込めば、新しい音楽が創れると夢中になっているということ。</p>	<p>フランスの音楽家たちは、ガムランの未知なる異国的な響きを、自分たちの音楽</p> <p>かのようなケージの軽口は、わずかに場の雰囲気をはぐしたということ。</p>	<p>空想や思考を拒絶する巨大な火口を黙って見つめていたときの「私」は、たいなる</p> <p>宇宙にとらえられ、人間的意識を超えたものを感じただけだったから。</p> <p>人々が巨大な火口の風景に圧倒され重苦しく沈黙するなかで、それを相対化する</p>